



2020年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月30日

上場会社名 株式会社 ランシステム
 コード番号 3326 URL <http://www.runsystem.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 面高 英雄

TEL 03-6907-8111

四半期報告書提出予定日 2020年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	6,010	3.4	153	14.2	155	7.3	33	15.5
2019年6月期第3四半期	6,222	2.9	134	339.2	145	451.5	29	

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 33百万円 (15.5%) 2019年6月期第3四半期 29百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	17.42	
2019年6月期第3四半期	15.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第3四半期	5,078	1,842	36.3	949.31
2019年6月期	5,096	1,827	35.9	941.88

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 1,842百万円 2019年6月期 1,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		10.00	10.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

今後における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響額について現時点で正確に把握することが困難なことから、配当予想の数値については未定とさせていただきます。

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

今後における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響額について現時点で正確に把握することが困難なことから、業績予想の数値については未定とさせていただきます。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期3Q	2,070,900 株	2019年6月期	2,070,900 株
期末自己株式数	2020年6月期3Q	130,445 株	2019年6月期	130,445 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期3Q	1,940,455 株	2019年6月期3Q	1,940,514 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 事業等のリスクに関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善によって緩やかな景気回復基調があった一方で、新たに発生した「新型コロナウイルス」の感染が全世界で日を追うごとに急拡大し経済への影響が深刻化していることから、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移しました。サービス業・アミューズメント業界においても、政府及び都道府県からの休業要請を受け、直営店舗を一時休業するなどの厳しい環境が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「基本の徹底」「安定した財務基盤の構築」「新規事業の拡張」に注力し、既存の主力事業である直営店舗事業がコロナウイルスの影響を受ける一方で、その他の事業における収益の拡大、新規事業の開発等に努めて参りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,010百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益153百万円(同14.2%増)、経常利益155百万円(同7.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円(同15.5%増)となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

<直営店舗事業>

当事業につきましては、当社及び当社子会社の株式会社ランセカンドによる複合カフェ「スペースクリエイト自遊空間」チェーン直営店舗の運営をメインとし、お客様に快適な空間を提供するためにVR視聴やカラオケ・ダーツ等の新しい機器の導入、ビリヤード・ダーツ大会、オンラインゲームイベントの企画運営を行い、既存会員の来店数の向上と新規顧客層の拡大に努めております。また、店内設備においては、お客様自身で入場や精算が可能な「セルフ化店舗」への改装や、お客様のニーズの高い個室ブースへの入れ替え等を行っております。結果としまして、当第3四半期連結会計期間の前半は好調に推移しておりましたが、コロナウイルス感染が全国的に拡大した後半は売上高・利益ともに大きく落とす結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末時点では、グループ店舗数166店舗(直営店舗72、FC加盟店舗94)となり、当セグメント全体の売上高は4,262百万円(前年同期比5.5%減)、セグメント利益は238百万円(同5.3%増)となりました。

<外販事業>

当事業につきましては、各種システム等の販売及び保守、管理業務を行っているほか、自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート業務を行っております。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は1,224百万円(前年同期比1.1%増)、セグメント利益は199百万円(同18.7%増)となりました。

<不動産事業>

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は266百万円(前年同期比13.8%減)、セグメント利益は77百万円(同6.9%減)となりました。

上記報告セグメントの他に、子会社である株式会社ランウェルネスにおける児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を運営しております。児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業では、放課後等デイサービス施設「ハッピーキッズスペースみんと」を11施設運営しております。「みんと」では、児童・生徒の発達支援に関するサービスを行っており、独自の療育プログラムに基づき、お子さま一人ひとりが自立し健やかに育むことができる環境を整えております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加しました。これは主に売掛金が4百万円、原材料及び貯蔵品が3百万円減少した一方、現金及び預金が45百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は3,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少しました。これは主に建物及び構築物が36百万円、車両及び備品が25百万円増加した一方、敷金が63百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は5,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少しました。これは主に買掛金が27百万円増加した一方、未払法人税等が21百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は1,921百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加しました。これは主に長期借入金が28百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は3,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加しました。これは主に利益剰余金が14百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、36.3%（前連結会計年度末は35.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症に基づく緊急事態宣言が発令され、当社の運営する複合カフェも自治体の自粛要請に伴い一時休業をするなど、当初想定していた状況から一変しております。このような状況から、今後における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響額について現時点で正確に把握することが困難なことから、業績予想の数値については未定とさせていただきます。なお、数値が確定した場合には速やかにお知らせいたします。

(4) 事業等のリスクに関する説明

直近の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について、直近の有価証券報告書の提出日後、当第3四半期決算短信提出日現在までの間において追加すべき事項が生じております。

また、以下の見出しに付された項目番号は、直近の有価証券報告書における「第一部 企業情報 第2 事業の状況 2 事業等のリスク」の項目番号に対応したものです。なお、以下の文中における将来の事項は、当第3四半期決算短信提出日現在において、当社グループが判断したものであります。

[追加事項]

<直営店舗事業について>

⑦新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業リスクについて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、国や都道府県から緊急事態宣言の発令及び業種指定での休業要請が出されるなどを受け、当社グループの直営店舗においても一時休業をしております。休業期間の長期化や、営業再開後の稼働率が大きく下がった場合には、売上高やロイヤリティの減少などが想定されます。今後、新型コロナウイルス感染症の収束時期によっては、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローに影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	685,260	731,157
売掛金	327,474	323,178
商品及び製品	131,756	129,065
原材料及び貯蔵品	53,057	49,143
その他	231,394	205,869
貸倒引当金	△2,693	△7,395
流動資産合計	1,426,249	1,431,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,359,941	1,396,690
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	198,938	223,976
土地	622,556	622,556
リース資産(純額)	3,510	3,030
有形固定資産合計	2,184,946	2,246,253
無形固定資産		
のれん	44,075	32,678
その他	59,993	56,788
無形固定資産合計	104,069	89,467
投資その他の資産		
敷金	1,038,204	974,875
その他	382,504	376,038
貸倒引当金	△38,974	△38,956
投資その他の資産合計	1,381,733	1,311,957
固定資産合計	3,670,749	3,647,678
資産合計	5,096,999	5,078,697
負債の部		
流動負債		
買掛金	188,297	215,985
短期借入金	150,000	150,000
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	482,692	472,229
未払法人税等	82,724	61,196
賞与引当金	-	27,900
資産除去債務	13,193	3,989
その他	411,744	373,967
流動負債合計	1,348,652	1,315,267
固定負債		
長期借入金	1,451,438	1,479,751
資産除去債務	207,956	211,992
その他	261,275	229,601
固定負債合計	1,920,670	1,921,345
負債合計	3,269,322	3,236,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,314	803,314
資本剰余金	841,559	841,559
利益剰余金	275,408	289,815
自己株式	△92,605	△92,605
株主資本合計	1,827,676	1,842,084
純資産合計	1,827,676	1,842,084
負債純資産合計	5,096,999	5,078,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,222,596	6,010,871
売上原価	5,315,556	5,049,263
売上総利益	907,040	961,607
販売費及び一般管理費	772,851	808,332
営業利益	134,189	153,275
営業外収益		
受取利息	994	830
販売手数料収入	5,408	5,073
受取保険金	15,940	6,333
物品売却益	1,204	4,299
その他	2,776	2,969
営業外収益合計	26,325	19,507
営業外費用		
支払利息	10,789	9,280
控除対象外消費税等	4,493	7,518
その他	180	374
営業外費用合計	15,462	17,173
経常利益	145,051	155,609
特別利益		
固定資産売却益	17,844	25,954
特別利益合計	17,844	25,954
特別損失		
固定資産売却損	0	507
固定資産除却損	16,790	495
店舗閉鎖損失	19,915	7,130
減損損失	38,940	66,588
災害による損失	5,686	—
特別損失合計	81,332	74,722
税金等調整前四半期純利益	81,563	106,841
法人税等	52,293	73,029
四半期純利益	29,270	33,812
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,270	33,812

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	29,270	33,812
四半期包括利益	29,270	33,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,270	33,812
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

当社は、2020年4月28日開催の取締役会において、下記の通り、資金の借入を行うことを決議いたしました。

1. 資金借入の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を鑑み、運転資金に充当することを主たる目的としております。

2. 借り入れの概要

- (1) 借入先 : 取引金融機関4行
- (2) 借入金額 : 850,000千円
- (3) 借入金利 : 基準金利+スプレッド
- (4) 借入期間 : 5～10年
- (5) 借入実行日 : 2020年4月末日～5月中旬(予定)